

校訓

明るく 正しく よくはげむ子

1 教育目標

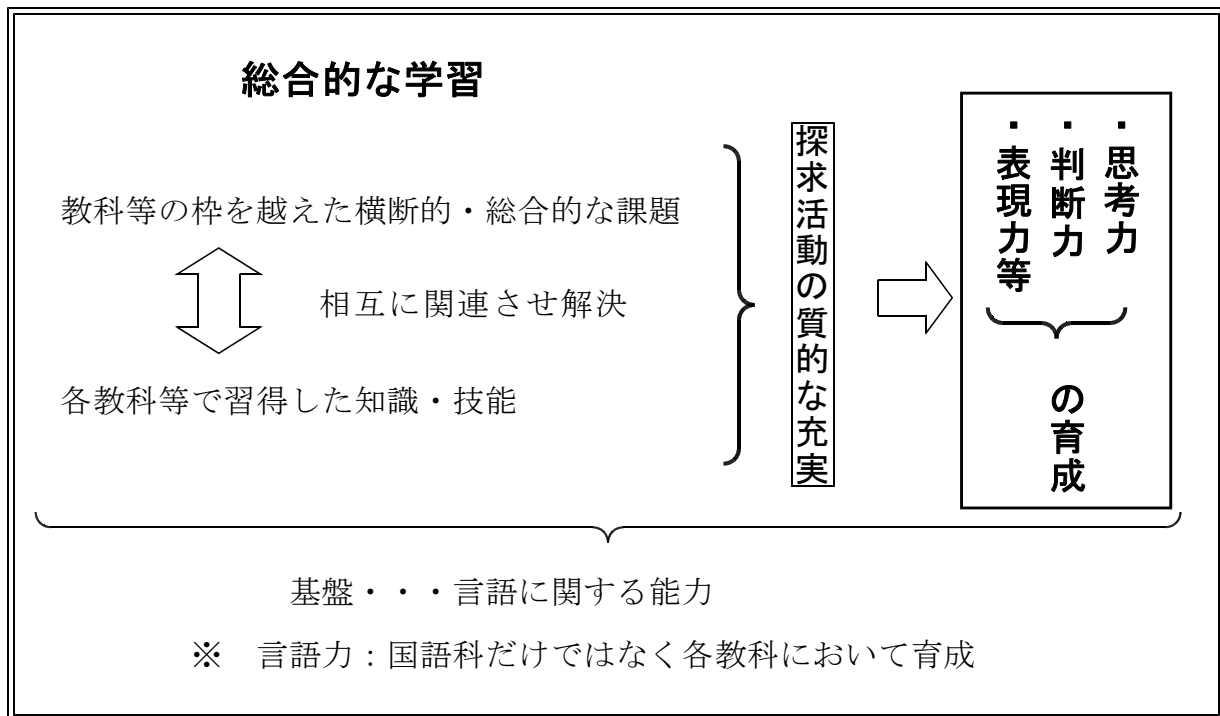
- ・ やさしく 思いやりのある子 (徳)
- ・ 深く考え 自ら学ぶ子 (知)
- ・ 健康で 明るい子 (体)

2 経営方針

- ① 徳・知・体の調和のとれた児童を育成するために、学習指導要領の趣旨を踏まえ、教育課程の適正な実施に努める。
- ② すべての教育活動を通して、人間尊重・人権尊重の精神の高揚を図り、人間愛に満たされた情操豊かな児童の育成に努める。
 - 障がいのある児童に対しても分け隔てすることなく、思いやりの心を持って共に学ぼうとする温かい関係を育てる。
- ③ 教職の専門職としての力量・指導力の向上に努めるため、授業研究を主に校内現職研修の充実を図る。
- ④ 教職員一人一人の特性と創意を生かし、特色ある学年・学級経営の推進に努めるとともに教職員相互の共通理解を図り、組織運営上の協力体制を確立する。
- ⑤ 家庭・地域社会・関係諸機関との連携を密にし、相互理解を深め、児童の健全育成のための協力体制を築く。

3 本年度の重点努力目標

- ① 言語活動の充実を図るために、教科等で必要とされる言語活動について研究を深め、「聞くこと・話すこと」の指導を、全ての教育活動の時間を通して進める。
- ② どの教科においても、見通しを立てたり振り返ったりする学習活動を進める。
- ③ スーパーバイザーを活用し、発達障害、不登校、教科学習についての研修を継続的に実施する。
- ④ 総合的な学習の時間をより充実したものにする。



4 特色ある学校づくり

地域の人たちとのいろいろな出会いと体験することを通して、地域の人たちの思いに触れ、自分の住んでいる地域を知り、地域を大切に思う心を育み、「思いやりの心」を実践できる児童の育成を図る。

そのために地域の人材・教育施設等の活用を図ることにより、地域性を意識させ、地域との連携を図りつつ、子どもたちを育てていく教育活動を実践する。

思いやりの心を育む

「この町、この緑、この人、ここが好き」な城山っ子の育成

- ① 地域の達人に学ぶ（外部講師、読み聞かせ等ボランティアの活用）
「室町文化祭」「棒の手」「昔の遊び」「昔の暮らし（講話）」「地域のため池（講話）」「アナウンサーの話し方」「地域の音楽家（マンドリニスト）」等
- ② 城山公園を舞台にした教育活動（教育施設の活用）
生活科，理科，社会，図工，総合的な学習の体験の場，調査の場，発表の場
- ③ 地域の一員として自分にできることを考える（地域への働きかけ）
 - ・ 地域の人との連携・地域行事への参加（子ども会スポーツ大会，サマーフェスティバル，盆踊り，校区運動会，歩け歩け大会，餅つき，クリーン作戦等）
 - ・ 通学班集合場所美化作戦，城山公園の清掃，保育園交流訪問等